



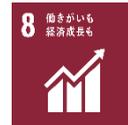
妊娠中からの父母への子育て支援と家庭科での 予防的教育

教育学部児童教育学科 教授 正保 正恵

キーワード

妊娠中 子育て支援 ワークライフバランス 家事育児 予防的家族生活教育

該当するSDGs

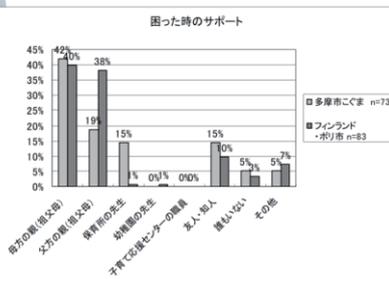


1 研究内容

妊娠中から父母への子育て支援を行うことで、安心感をもって子育てを行い、やがては保育所やこども園、幼稚園における家族支援の軽減、小学校からの児童・生徒の心の安定にもつながるのではないかと考えられる。また、企業の父親への産休・育休新制度の定着により、ワークライフバランスの取れた環境での育児が可能となる。それらを家庭科教育においても予防的に学習するためのプログラムを研究。

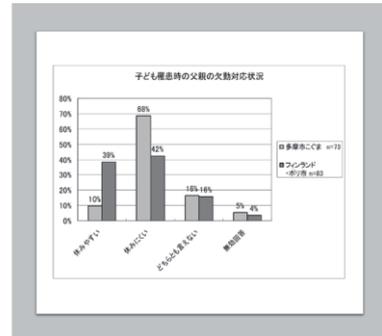
親が困ったときのサポート

2005年に行ったフィンランドと日本の保育所の保護者への比較調査で、困った時のサポートの依頼先がフィンランドは母方の祖母と父方の祖母がほぼ同じ割合だったことに新鮮な驚きを覚えた。



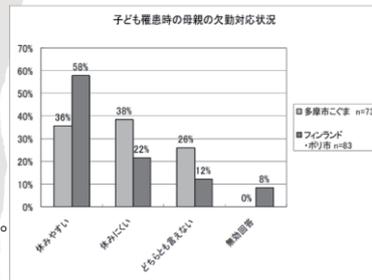
子ども罹患時の父親の欠勤対応状況

同じく、日本とフィンランドの違いがあまりに大きかったデータ。フィンランドでは、子どもが病気になったら、40%近くの父親が仕事を休みやすい。



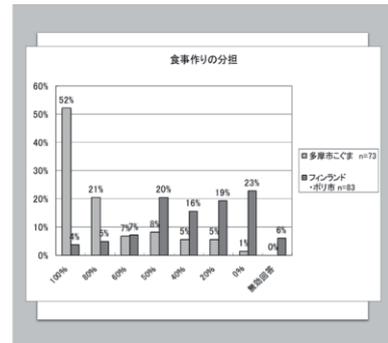
同じく母親の場合

フィンランドでは、子ども罹患時に約60%の母親は仕事が休みやすい。この調査から約20年が経とうとしているが、日本の現状は進んでいるのだろうか。



父親の方が食事を作っているフィンランド？

日本は100%母親が食事作りを行っている家庭が半分以上あるが、フィンランドは食事作りにおいて父親の参画が進んでいる。
日本の父親たちも得意料理を作りましょう。(グラフは母親がどれくらい作っているか、という質問。)



2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

●企業の男性の産休育休新制度とワークライフバランス ●妊娠中からの安心・安全を感じる育児支援

これまでの連携実績

●福山市青少年・女性活躍推進課との連携による男女共同参画人材育成セミナー ●福山市ネウボラ推進課との連携によるネウボラ相談員研修 ●福山市企画政策課との連携によるみんなのライフスタイル応接会議 ●福山市健康推進課との連携による食育部会 ●小学校・中学校の家庭科研修

問合せ先 福山市立大学事務局総務課

TEL:084-999-1112 FAX:084-928-1248 MAIL:soumu@fcu.ac.jp